

## 校長室だより 第三号

岡崎市立常磐小学校  
令和二年四月三十日



四月二十二日(水)滝町総代の中根様はじめ、地域の皆さんと漁業組合の方々のおかげで、青木川へのアユの放流を実施することができました。四年生の代表として西本君は、お礼の言葉の中で、

「これから、アユの子供が、どのように育っていくのかを考えると、どきどきわくわくします。この常磐学区を流れる青木川のことを、調べていきながら、今日放流したアユや青木川にいる生き物たちが、気持ちよくくらししていける方法を考えていきたいと思えます。」  
と、学習の目標とともに感謝の気持ちをしっかりと伝えました。



今年のアユは、とても元気が良く、運搬用のトラックから青いバケツに分配されると、飛び出してしまうほどあばれまわっていました。子供たちは、自分の手の熱で、アユがやけどしてしまわないようにと、まず川の水で手を冷やしました。その後、小分けされたアユをつかむと、先生の合図で一斉に、川へアユを放ちました。

そこで一句

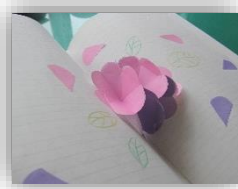
アユ放つ青いバケツの行儀よく



## Brno Go my Way at ホーム

臨時学校休業が五月三十一日まで延長され、長期間の休みも、三か月めに入ろうとしています。メディアで伝えられているように、おうちで過ごすように努めて、新型コロナウイルスを封じ込めるようにしていきましよう。そうすることが、学校の授業再開を確実にするものだと思います。

ところで、三月に提案した『休み中ノート』を見せてもらいました。低学年の子たちのノートは、保護者の方から多くの協力をいただいたようで、本当にありがとうございます。どのノートからも、長い休みとなってしまう一日一日を、工夫



し楽しもうとする姿勢が伝わってきました。五月に学校が再開されれば、展示方法を考え、紹介しようと思っていました。それもできなくなっていました。もしよければ、この後も引き続き『休み中ノート』作りをして、学校再開のあかつきには、校長室に持ってきてください。右下のノートは、「開くときにご注意ください」と書いてあったので、何かと思ったら、ノートが飛び出す絵本のように細工されていました。また、次ページには、創作童話のようなお話を紹介します。是非読んでみてください。どちらも五年生女子のノートです。

### ★六月の主な行事予定

一日(月) 全員登校開始(弁当持ち)  
十六日(火) 三年 交通安全教室

二十五日(木) 五年 山の学習(日帰り) ※代休はありません。

※あくまで予定です。状況によっては、変更することがあります。



昔むかし、あるところの海の近くに、あるおじいさんの家がありました。ある日おじいさんの家の近くでカメをいじめている子がいました。おじいさんは、「カメをいじめるな!」と、子供たちを追い払いました。すると、カメが、「助けてくれてありがとうございます。お礼に、わたしの家に行きましょう。」と言いました。カメが言うように、おじいさんはカメについていくことにしました。けれど、カメとおじいさんは足が遅いので、2 kmほどの家に、一時間たつても着きませんでした。五時間ほどたつても着かないので、おじいさんは、今にも熱中症になりそうでした。でも、がんばって約八時間でカメの家に着きました。カメは、おじいさんに、「今から料理を作るので、少々お待ちください。」と言いましたが、おじいさんは、はらぺこで今にも倒れそうです。

一時間後、お料理が机にどっさりおいてありました。おじいさんは食べ始めましたが、カメがいません。周りを見回してもいません。外に出てみると、カメがランニングしたり筋トレをしたりしていました。おじいさんは、なぜ筋トレをしているのか聞きました。

「いつも無理などをせず、こつそり筋トレをして体力をつけているんだ。これがわたしの生き方なんだ。」  
おじいさんは見ていられません。おじいさんも、筋トレをやりました。それを見て、おじいさんとカメの筋トレが始まりました。それを毎日、毎日やっていました。

ある日、ウサギがやってきて、こう言いました。  
「ぼくと勝負をしないか。あそこの、ちょうど1 kmのところまで競争だ!」

そんなことから競争することになりました。審判はおじいさん

です。おじいさんがピストルを鳴らします。

「よいい」 パーン! ピストルが鳴ると、カメとウサギは走り出しました。ウサギはカメを余裕で抜いていきます。けれどカメが遅すぎるので、八百mのところまで寝ることにしました。それを見たカメは、これまでのランニングを思い出し、全速力で走りまわりました。こうしてカメはあつという間にゴールに着きました。ウサギはびつくり! ウサギは寝たことを反省しました。そして、おじいさんとカメとウサギ、三人で筋トレを毎日、毎日行いました。やがて、お別れの日が来ました。まず、カメからのプレゼントをもらい、ウサギからのプレゼントももらい、お別れをしました。おじいさんは、プレゼントを抱えて走っていき、約三十分で家に着きました。おじいさんは、まずカメのプレゼントを受けました。なんと筋トレグッズ、Tシャツ、短パン、運動靴が入っていました。次にウサギのプレゼントをあげると、不思議なけむりが出てきました。鏡を見ると、自分が若い二十五才の人になっていました。すると時空が回って、二〇二〇年に来ていました。おじいさんは、実は金栗しぞうだったのです! それからいつの間にか東京オリンピックピックに出ることになっていたので、おじいさんはマラソン競技に向けて、毎日筋トレをしました。すぐに東京オリンピックピックになり、マラソン競技が始まりました。パーンとピストルが鳴った瞬間、おじいさんが飛び出していきました。あつという間に一等賞! オリンピックが終わり、一位になった賞金で一軒の家を建てました。それから、それから、お嫁さんをもらい、おじいさんは幸せに暮らしたとき。

けむりがかぶったら、若返っちゃうとか、プレゼントは筋トレグッズなんて、よく思いついたね。想像するっておもしろい。

